

第29回「自然災害対策技術展」

首都直下地震への対策、能登半島地震・複合災害への復興等を「防災×テクノロジー」の発信で、減災をもたらす

同時開催 震災対策技術展オンライン

2025年2月6日(木) ▶ 7日(金)

10:00 ▶ 17:00

パシフィコ横浜 Dホール

同時開催 第16回「振動技術展」 第5回「防災食品展」 災害アプリ体験コーナー ハザードマップ配布コーナー

2月6日(木) ～ 2月7日(金) (午前10時～午後5時) にパシフィコ横浜Dホール(横浜市西区)において、第29回自然災害対策技術展「震災対策技術展」が開催される。同時開催は第5回「防災食品展」。主催は「震災対策技術展」横浜実行委員会。運営は「震災対策技術展」横浜事務局/エグジビションテクノロジーズ。

同展は、耐震・制振技術、災害対策工法といった「事前防災」から防災力向上を加速される「フェーズフリー」な防災製品が多数出展し、企業や自治体の防災対策を推進する講演が実施される『地震・自然災害対策専門』展示会となっている。

2日間で災害対策セミナー・シンポジウム62セッションを実施予定。発生から1年が経過する「石川県能登半島地震・複合災害」に対して1年経過してから見えた発生からの教訓、そして今後の対策を聴講者と考えるセミナー・シンポジウムを開催する。

Jアラート対応リモート鍵収納箱を展示 複数の防災施設を一元管理、どこでも取付け簡単

ビット・パーク

ビット・パークは、Jアラートに紹介する。

ラート対応のリモート鍵収納箱「ココBOX II」を展開。リモート解錠型キーボックス「ココBOX II」を示す。避難所や防災庫の鍵を保管するボックスを、所を開錠する手助けを行う。地震はもちろん、津波、緊急時にパソコンやスマートフォンからリモート解錠できる「ココBOX II」の新しいタイプであるJアラート対応「ココBOX II」をメインで紹介する。

画面で複数のココBOXを一元管理(待機、解錠、開扉状態確認)できる。一括解錠・個別解錠モードを搭載。解錠されたことを、事前登録した自治会関係者にもメール通知。地域連携を図る。間違っても、解錠指示した場合、リモートで再度解錠することもできる。

どこでも取り付け簡単。専用回線契約不要なので取付可能域が拡大。必要なのはAC100Vのみ。工事も簡単。なお、体育館の軒先など、直射日光や風雨が直接当たらない場所に設置する。



Jアラート対応のリモート鍵収納箱「ココBOX II」

「ココBOX II」は、堅牢なボディと各種センサー連携など拡張性に優れた製品。複数の防災施設を一元管理する。地図と連動したマホやメールに通知する。